



ASSESSMENT OF TECHNOLOGY
FOR BUILDING CONSTRUCTION

GBRC 性能証明 第 14-14 号 改 2 (更 1)

建築技術性能証明書

技術名称 : GRR シート工法 (GEO restraint rubble sheet)
— 砕石とジオテキスタイルを用いた地盤補強工法 — (改定 2)

申 込 者 : 日建ウッドシステムズ株式会社 代表取締役 馬場 栄一
東京都豊島区池袋 2-54-14 東拓ビル 4 階

技術概要 : 本技術は、所定の厚さを有する砕石地業中にジオテキスタイル（以下、“シート”と称す）を二重に敷設することで、べた基礎の支持力を増加させる地盤補強工法である。

開発趣旨 : 住宅などの小規模建築物用の地盤補強工法として用いられているセメント系固化材を用いた深層混合処理工法や、鋼管等を用いた杭状地盤補強工法は、建設時に専用の施工機を必要とし、建築物の解体撤去時には杭状体の撤去を求められる場合がある。本工法は、このような課題を解消することを目的として開発した地盤補強工法であり、特殊な施工設備や技能を必要とせず、砕石地業の一環として施工することができる。また、地表面付近のみの補強であることから、建築物の解体撤去時の撤去作業が非常に容易である。

当法人の建築技術認証・証明事業 業務規程に基づき、上記の性能証明対象技術の性能について、下記の通り証明する。なお、本証明は 2020 年 8 月 5 日発行の GBRC 性能証明 第 14-14 号 改 2 を更新するものであり、有効期間は、2026 年 8 月末日までとする。

2023 年 8 月 7 日

一般財団法人 日本建築総合試験所
理事長 上 谷 宏 二

記

証明方法 : 申込者より提出された下記の資料により性能証明を行った。

- 資料 1 : GRR シート工法 性能証明のための説明資料
- 資料 2 : GRR シート工法 設計施工マニュアル
- 資料 3 : 試験資料
- 資料 4 : 更新資料

資料 1 には、本技術の目標性能達成の妥当性を確認した説明資料がまとめられている。
資料 2 は、本工法の設計施工マニュアルであり、設計フロー、支持力算定式などの設計方法の他、使用材料、施工方法及び施工管理方法が示されている。
資料 3 には、資料 1 で用いた個々の載荷試験結果報告書などが取りまとめられている。
資料 4 には、施工実績や運用体制の維持状況などがまとめられている。

証明内容 : 本技術についての性能証明の内容は、鉛直支持力についてのみを対象としており、以下の通りである。

申込者が提案する「GRR シート工法 設計施工マニュアル」に従って施工された補強地盤の長期荷重時および短期荷重時の鉛直荷重に対する支持能力は、同マニュアルに定めるスクリュウウェイト貫入試験結果に基づく支持力度算定式で適切に評価できる。
また、本技術については、規定された施工管理体制が適切に運用され、工法が適正に使用されている。